

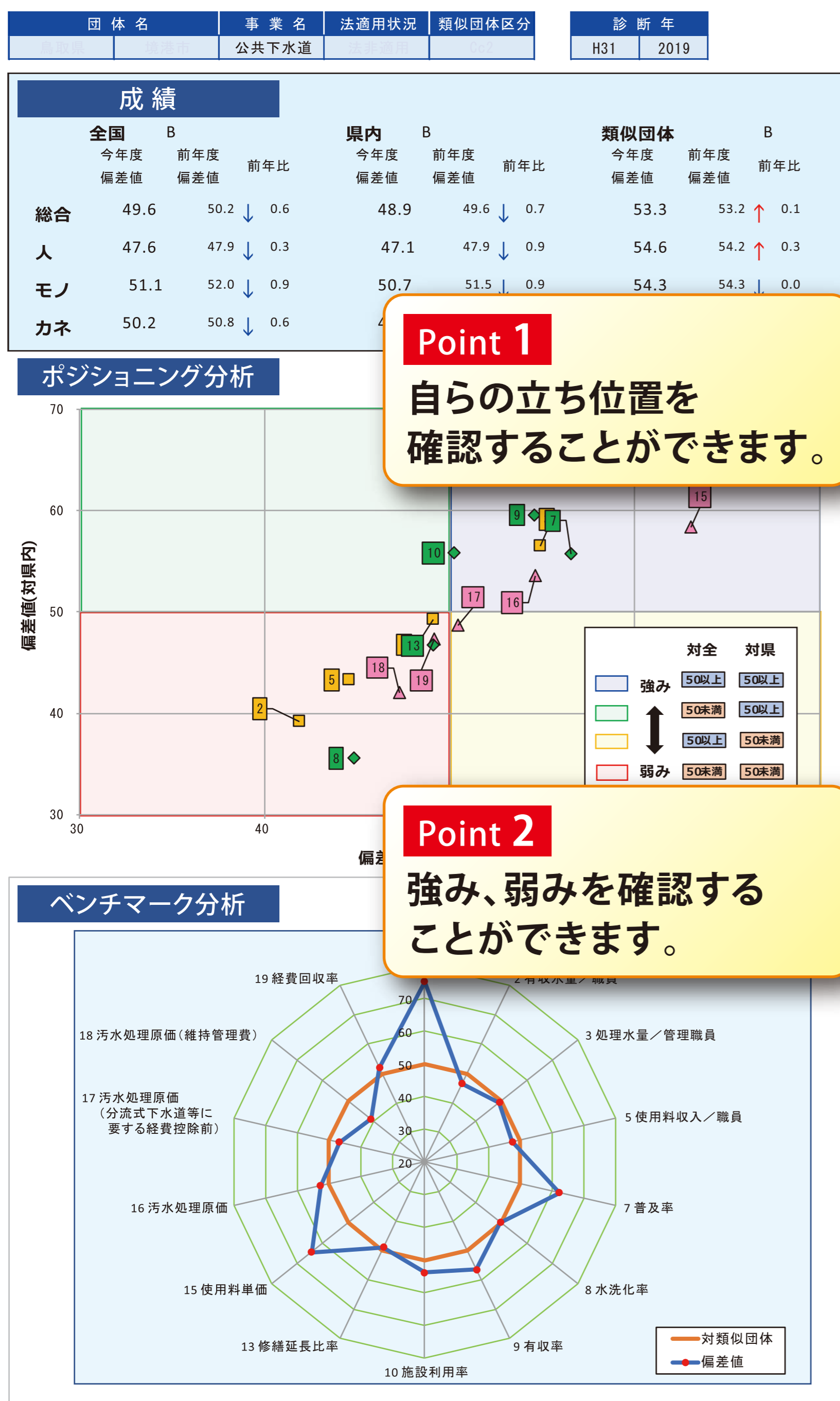
経営を健全な状態に改善しつつ、将来にわたり、下水道サービスを提供するためには、人・モノ・カネを関連づけた「戦略的事業運営」が重要です。

経営診断表を導入し、事業体に適したオーダーメイド型の戦略的事業運営を一緒に考えていきませんか。

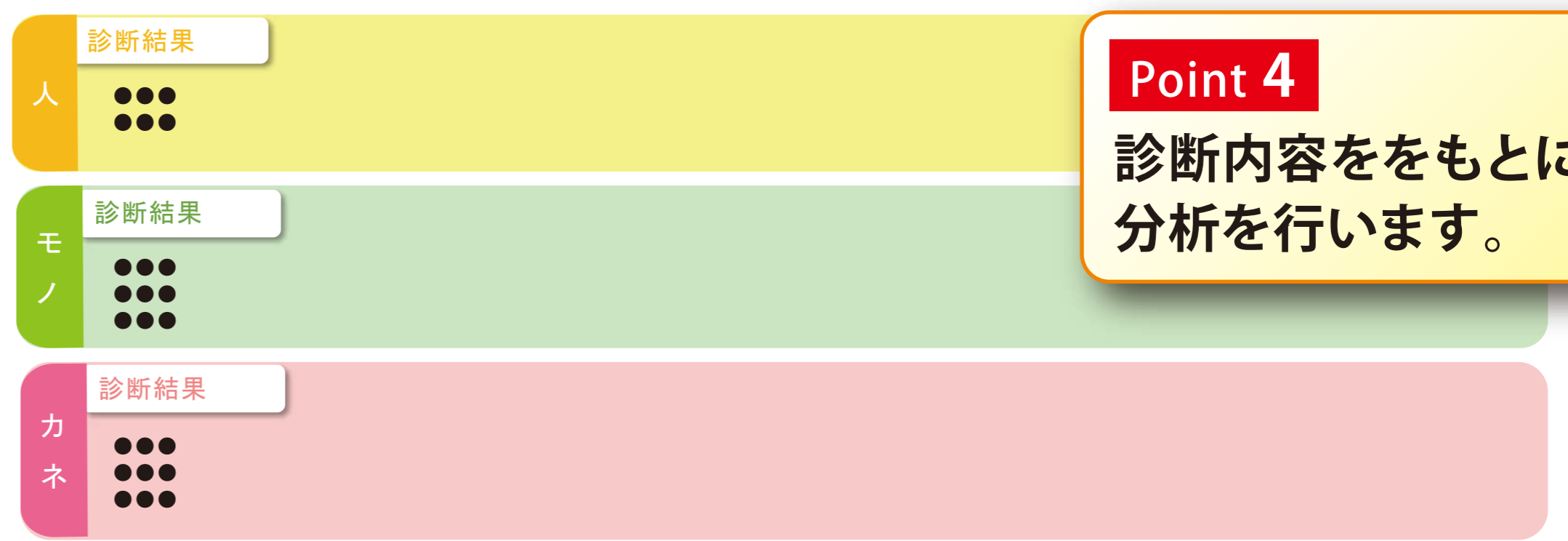
経営診断表の特徴

事業体の状況は様々であるため、戦略的事業経営を行うためには、自らの立ち位置を把握するとともに、下水道事業が置かれている状況を明確にする必要があります。

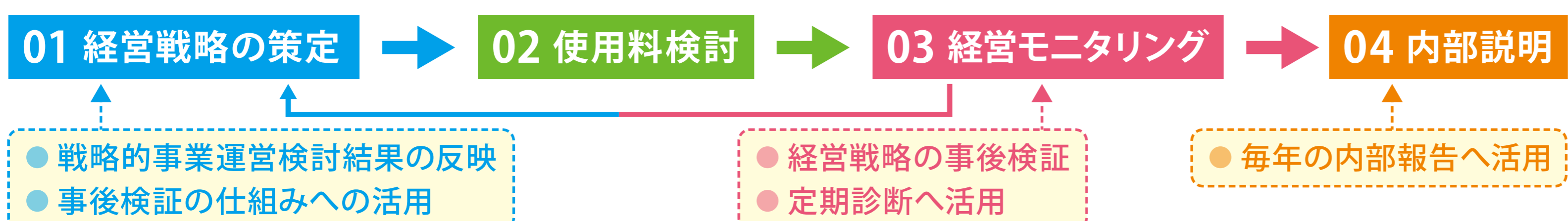
当社が提案する経営診断表では、人・モノ・カネの3つの視点から、他団体との比較や前年度からの課題の改善状況を1枚の診断表で把握できるため、『経営状況の見える化』を容易に実現できます。



区分	No	財務指標	単位	偏差値 (対全国)	偏差値 (対県内)	偏差値 (対類似団体)	実績値	目標値	
人	1	職員数 (内訳: 損益勘定職員+資本勘定職員)	人	49.1	47.1	54.6			
	2	職員1人当たりの有収水量	m3/人	41.9	39.1	40.9	194.131	高いほど良い	
	3	処理場管理職員1人当たりの処理水量	m3/日/人	54.9	56.5	49.2	3,242	低いほど良い	
	4	管渠管理職員1人当たりの管路延長	km/人	-	-	-	-	高いほど良い	
	5	職員1人当たり下水道使用料収入	千円/人	44.5	43.3	47.5	38962.0	高いほど良い	
	6	維持管理費民間委託比率	%	-	-	-	-	高いほど良い	
偏差値 (人)				47.6	47.1	54.6			
成績 (人)				B	B	B			
モノ	7	下水道処理人口普及率	%	56.6	55.7	62.3	79.8	100.0	
	8	水洗化率 (接続率)	%	44.8	35.5	49.7	79.9	100.0	
	9	有収率	%	54.6	59.6	56.6	98.4	90.0	
	10	施設利用率 (日平均)	%	50.2	55.8	53.8	56.7	高いほど良い	
	11	施設の老朽化率 (管渠)	%	-	-	-	-	-	
	12	施設の老朽化率 (処理場)	%	-	-	-	-	-	
	13	修繕延長比率	%	49.1	46.7	49.0	0.0	低いほど良い	
	偏差値 (モノ)				51.1	50.7	54.3		
	成績 (モノ)				B	B	B		
	カネ	15	使用料単価	円/m3	63.1	58.4	64.4	200.7	150
		16	汚水処理原価	円/m3	54.6	53.6	52.7	229.7	低いほど良い
		17	汚水処理原価 (分流式下水道等に要する経費控除前)	円/m3	50.5	48.7	46.8	333.9	低いほど良い
		18	汚水処理原価 (維持管理費)	円/m3	47.3	42.0	41.0	91.2	低いほど良い
19		経費回収率	%	49.2	47.3	52.0	87.4	100.0	
20		経費回収率 (分流式下水道等に要する経費控除前)	%	51.8	50.6	57.6	60	高いほど良い	
21		維持管理職員当たり維持管理費	千円/人	46.3	47.3	50.2	129,228	高いほど良い	
22		収益的収支比率	%	48.1	47.1	51.7	90.5	100.0	
23		処理区域内人口1人当たりの企業債 (地方債) 現在高	千円/人	-	-	-	-	低いほど良い	
24		繰入金比率 (基準外)	%	40.8	44.6	41.6	4.5	低いほど良い	
偏差値 (カネ)				50.2	48.8	50.9			
成績 (カネ)				B	B	B			



経営診断表の活用場面



まずは、1回利用して、その後導入といったことも可能です。

